

第7回 人に生きる力を与える建築は可能か



台中国家歌劇院(2016)



EXPOホール「シャインハット」(2025)



仙台市宮城野区みんなの家(2011)



茨木市文化・子育て複合施設 おまぐら(2023)



石本藤雄デザインミュージアム(施工中,本年完成予定)

『人はあり余る程の情報を得ても幸せにはなれない。或いは技術の進化によって寿命が延びたとしてもさほど幸せに感じることはないだろう。

人に生きる力を与えるのは人と人との信頼で
きる関係をつくり出すことではないか。

それを可能にする建築の想像力とはどのような
ものだろうか。』

伊東豊雄

- 日 時
- 開催形式
- 会 場
- 参 加 費
- 募集人数
- 参加方法

2026年 9 月 25 日(金) 18:00~19:30

会場のみで開催(Zoomなし)

JIA館1F「建築家クラブ」(東京都渋谷区神宮前2-3-18)

一般:2,000円 学生無料

70人

下記アドレス又はQRコードにてアクセスし、必要事項を入力の上お申し込みください。

<https://forms.gle/pxk235ZLtPa7EJB36>

※締切:9月24日24:00(定員になり次第受付終了とさせていただきます。)

- 主 催
- C P D

JIA関東甲信越支部 金曜の会
2単位

- 協 賛 (株)建築家会館



■講師プロフィール

伊東 豊雄（いとう とよお）

<略歴>

- 1941 京都市（現・ソウル市）生まれ。父の郷里の長野県下諏訪町で育つ
- 1965 東京大学工学部建築学科卒業
- 1965 ～ 1969 菊竹清訓建築設計事務所勤務
- 1971 株式会社社アーバンロボット（URBOT）設立
- 1979 事務所名を株式会社伊東豊雄建築設計事務所に改称
- 2005 ～ くまもとアートポリスコミッショナー

<主な作品>

- 1984 シルバーハット（東京）
- 1997 大館樹海ドーム（秋田）
- 2001 せんだいメディアテーク（宮城）
- 2004 まつもと市民芸術館（長野）
TOD' S 表参道ビル（東京）
- 2007 多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）（東京）
- 2008 座・高円寺（東京）
- 2013 台湾大学社会科学部棟（台湾）
- 2015 みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜）
- 2016 バロック・インターナショナルミュージアム・プエブラ（メキシコ）
台中国家歌劇院（台湾）
- 2022 水戸市民会館（茨城）
- 2023 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル
- 2025 EXPO ホール「シャインハット」

<主な著書>

- 1989 「風の変様体」（青土社）
- 2000 「透層する建築」（青土社）
- 2012 「建築の大転換」 中沢新一共著（筑摩書房）
「あの日からの建築」（集英社新書）
- 2016 「建築」で日本を変える（集英社新書）
「日本語の建築」（PHP 新書）
- 2020 「伊東豊雄 自選作品集 身体で建築を考える」（平凡社）
- 2025 「この社会に、建築は、可能か」（青土社）
「誰のために 何のために 建築をつくるのか」（平凡社）

<主な受賞>

- 1986 日本建築学会賞作品賞（シルバーハット）
- 2002 ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」（生涯業績部門）
- 2003 日本建築学会賞作品賞（せんだいメディアテーク）
- 2006 王立英国建築家協会（RIBA）ロイヤルゴールドメダル
- 2010 高松宮殿下記念世界文化賞
- 2012 ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」（コミッショナーを務めた日本館が受賞）
- 2013 プリツカー建築賞
- 2016 日本建築学会大賞
- 2017 UIA ゴールドメダル

<近年の活動>

東日本大震災後、住民の憩いの場として提案した「みんなの家」は、16 軒完成。2016 年の熊本地震に際しては、くまもとアートポリスのコミッショナーとして「みんなの家のある仮設住宅」づくりを進め、各地に 100 棟以上が整備された。2011 年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。



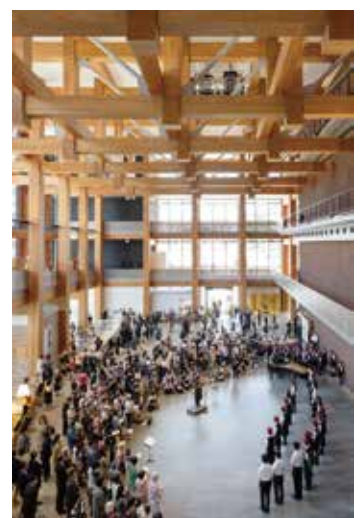
©藤塚光政



©宮城県観光課



©中村絵



©中村絵